

## 第 32 回

# 数の表し方のしくみ

講師  
 湯浅 弘一

**学習のポイント** ① 10進法 ② 2進法 ③ 2進法の計算

## ① 10進法

10000 の位	1000 の位	100 の位	10 の位	1 の位
5	6	7	8	9

漢字で書けば“五万六千七百八十九”

私たちが普段使っている数です。

お金で考えると……

1 円玉, 10 円玉, 100 円玉, 1000 円札, 10000 円札

すべて 10 倍ずつになっていますね。

ですから, 10 倍ずつ進むお約束ということで 10 進法といいます。

“10” 集まると 1 つのまとまりとして位を 1 つ上げていく、いわゆる「繰り上がる」という性質です。  
 繰り上がる……

1, 2, 3, 4, …… , 9

この 9 が 0 から数えて 9 個目。そして 10 個目に 1 桁から 2 桁になっています。10 進法は 0 と 1 ~ 9 までの 10 個の数を使用しています。

## ② 2進法

10 進法と同じように考えてみると,

“2” 集まると 1 つのまとまりとして位を 1 つ上げていく数の表し方を 2 進法といいます。

簡単に言えば 2 倍ずつ進む単位です。

16 の位	8 の位	4 の位	2 の位	1 の位
1	1	1	1	1

このようになります。

10 進法と区別をするために, この 2 進法の数を  $11111_{(2)}$  と書いたりします。

さらに, “2” が集まると位が上がるため, 2 という数は使用できません。

すなわち, 0 と 1 の 2 個の数字しか使わないのです。その理由は 2 個目に繰り上がるからです。

<ご注意！>

上の11111(＃)の読み方は、イチイチイチイチです。  
 一万千百十一と読むと、それ自体が10進法になってしまいます。  
 数え方を比較すると・・・

10進法	0	1	2	3	4	5	6	7	8
2進法	0	1	10	11	100	101	110	111	1000

ここで、以下のように、この表を見ます。

2進法の111<sub>(2)</sub>は

1の位が1個

2の位が1個

4の位が1個

つまり・・・

1円玉が1個

2円玉が1個

4円玉が1個

の合計は  $1 + 2 + 4 = 7$  (円)なので、

上の表のように2進法の111<sub>(2)</sub>は10進法で7になります。

お金の換算と同じイメージです。

**例題 1**

101101<sub>(2)</sub>を10進法で表せ。

**解答** 2進法の101101<sub>(2)</sub>は

1の位が1個、2の位が0個、4の位が1個、8の位が1個、16の位が0個、32の位が1個

つまり

1円玉が1個、2円玉が0個、4円玉が1個、8円玉が1個、16円玉が0個、32の円玉が1個

の合計  $1 + 4 + 8 + 32 = 45$  (円)なので、

上の表のように2進法の101101<sub>(2)</sub>は10法で45になります。

練習 1

$10101_{(2)}$  を 10 進法で表せ。

解答 2 進法の  $10101_{(2)}$  は

1 の位が 1 個

2 の位が 0 個

4 の位が 1 個

8 の位が 0 個

16 の位が 1 個

の合計は、 $1 + 4 + 16 = 21$  なので、10 進法で 21 になります。

例題 2

10 進法で 21 を 2 進法で表しなさい。

解答 【答え 1】

これもお金でイメージすると、2 進法では

1 円玉, 2 円玉, 4 円玉, 8 円玉, 16 円玉, 32 円玉, …

21 は 16 円玉が一番大きく使えます。これを 1 個使用すると仮定すれば、

残りは  $21 - 16 = 5$  (円)

この 5 円は 4 円玉が使えるので、ここで 1 個使用すると残りは  $5 - 4 = 1$

1 円玉 1 枚が残ります。

使ったものは 16 円玉と 4 円玉と 1 円玉です。

つまり、2 進法でいう 16 の位, 4 の位, 1 の位を 1 回ずつ使用したので、

10 進法で 21 は  $10101_{(2)}$  と表すことができます

でも、いちいちこの計算をするのは面倒なので、以下のスタシ算を使用します。

素因数分解のときのように 2 進法にしたい場合は 2 で割って、余りを書きます。

最後の商 1 から始め、余りを下から上に書くと、答えを求めることができます。

【答え 2】

2) 21

2) 10 …… 1 ← (21 ÷ 2 = 10 あまり 1)

2) 5 …… 0 ← (10 ÷ 2 = 5 あまり 0)

2) 2 …… 1 ← (5 ÷ 2 = 2 あまり 1)

1 …… 0 ← (2 ÷ 2 = 1 あまり 0)

下から逆さまに 10101 つまり答えは  $10101_{(2)}$  です。

練習2

10進法で45を2進法で表しなさい。

解答 ここでは、スタレ算を使うことにします。

$$\begin{array}{r}
 2 \overline{) 45} \\
 2 \overline{) 22} \cdots 1 \\
 2 \overline{) 11} \cdots 0 \\
 2 \overline{) 5} \cdots 1 \\
 2 \overline{) 2} \cdots 1 \\
 1 \cdots 0
 \end{array}$$

10進法で45は $101101_{(2)}$ です。

### 3 2進法の計算

例題3

2進法で表された数のたし算をしなさい。

$$111_{(2)} + 101_{(2)}$$

解答 【答え1】筆算をします。

$$\begin{array}{r}
 ① \quad 111_{(2)} \\
 +) 101_{(2)} \\
 \hline
 0_{(2)}
 \end{array}$$

→ 1の位の $1 + 1 = 2$ つまり、2進法では10なので、0を記して1がくり上がります。

$$\begin{array}{r}
 ② \quad 1 \\
 111_{(2)} \\
 +) 101_{(2)} \\
 \hline
 00_{(2)}
 \end{array}$$

→ 先ほどの繰り上がった1とさらに1を加えて2の位は $1 + 1 = 2$ つまり、2進法では10なので、0を記して1が繰り上がります。

$$\begin{array}{r}
 ③ \quad 11 \\
 111_{(2)} \\
 +) 101_{(2)} \\
 \hline
 1100_{(2)}
 \end{array}$$

よって、 $111_{(2)} + 101_{(2)} = 1100_{(2)}$



例題 4

2進法で表された数の かけ算をなさい。

$$101_{(2)} \times 111_{(2)}$$

解答 【答え1】

筆算をすると

$$\begin{array}{r} 101_{(2)} \\ \times) 111_{(2)} \\ \hline 101_{(2)} \\ 101_{(2)} \\ 101_{(2)} \\ \hline 100011_{(2)} \end{array}$$

よって,  $101_{(2)} \times 111_{(2)} = 100011_{(2)}$

(注) 2進法では,  $1_{(2)} + 1_{(2)} = 10_{(2)}$  です。

【答え2】

10進法に直してから計算すると

$$101_{(2)} = 5_{(10)}$$

$$111_{(2)} = 7_{(10)}$$

よって,  $5 \times 7 = 35$  なので,

$$\begin{array}{r} 2 \overline{) 35} \\ 2 \overline{) 17} \quad \dots 1 \\ 2 \overline{) 8} \quad \dots 1 \\ 2 \overline{) 4} \quad \dots 0 \\ 2 \overline{) 2} \quad \dots 0 \\ 1 \quad \dots 0 \end{array}$$

よって,  $101_{(2)} \times 111_{(2)} = 100011_{(2)}$

